



火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所

八尾市消防団

発行責任者

八尾市消防団長

小角道男

八尾市高美町5-7

TEL(0729)92-0119

FAX(0729)92-7722

消防出初式 2005



関連記事は3ページ

消防団の新たな役割

八尾市消防団長

小角道男



平素、消防団の皆様には住民の安全を守るため、人知れぬご苦労の多い中であって、奉仕の精神をもって献身的な活動を続けていただいておりますことに、深く敬意を表するとともに、消防団活動を陰で支えていただいておりますご家族の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

近年、国内外で地震や津波等の大災害が相次いで発生し、ま

た、東南海・南海地震が今世紀前半に発生するのではと懸念される中で、地域防災力の向上が喫緊の課題となっております。

地域防災力を向上させるためには、自主防災組織をはじめとする地域住民と消防本部・消防団で構成する消防機関、そして市の三者が緊密な連携を持ち、一体となって防災の視点に立つての地域づくりを推進しなければなりません。

特に消防団は、地域に根ざした歴史ある組織であり、防災面での十分な訓練と経験を積んでいることから、それぞれの地域でリーダーシップをとり、自主防災組織や住民に対する訓練指導、防災知識の普及啓発等の役割を担うことに期待が寄せられています。

消防団が大規模災害時をはじめとして、地域の安全確保のために大きな役割を果たすためには、地域密着性・要員動員力・即時対応力という消防団の特性をいかに発揮すべきかがキーポイントであります。

各地域の実情に応じた適正な団員数の確保はもちろんのことであり、消防団を支援す

る組織の創設や団員に対する適切な研修・教育訓練が欠かせないと考えております。

また、活動を地域防災面に止めることなく、福祉や環境保全、芸術文化など、他の分野にも幅を広げることにより、地域密着性がより高められることとなります。

さらに、住民が災害に対して自らが自らを守ることの自覚に加え、消防団が果たしている指導的役割について認識を高める必要があります。学校教育などの場で地域防災や消防団に対する理解を促進することも重要であります。

これら課題の解決は一朝一夕に図れるものではありませんが、微力ながらひとつひとつ着実に進めてまいりたいと考えておりますので、団員の皆様におかれましても大規模災害への対応を意識した活動に取り組んでいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、団員ならびにご家族皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。あいさつといたします。

大阪府消防表彰式

平成17年3月20日(日)大阪府青少年会館において、平成16年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも消防庁長官表彰をはじめとして、多くの団員が栄えある表彰を受章されました。



消防庁長官表彰

○永年勤続章

志紀分団 副分団長 角野秀幸

○大阪府知事表彰

○消防勤続功労章

西郡分団 分団長 竹口 登

曙川分団 分団長 山口修次

○消防功労章

八尾分団 部 長 中村栄次

曙川分団 部 長 吉川公三

山本分団 部 長 朝田益史

消防出初式

平成17年1月10日(月)午前10時、大阪府中部広域防災拠点において、消防職・団員総勢422名、車両35台が参加し、八尾市消防出初式が挙行されました。

式典は、大阪市消防局航空隊の祝賀飛行をかわきりに、国旗掲揚、殉職者に対しての黙とうの後、消防音楽隊を先頭に消防職員、団員、幼年消防クラブ員による徒歩及び自動車部隊の分列行進、地域防災に貢献した団員に市長・団長表彰が授与されました。その後、消防救助隊による訓練披露があり、最後に、はしご車・ミニ消防ポンプ自動車・消防団による一斉放水で、出初式は幕を閉じました。

今年開催場所がこれまでの八尾中学校から大阪府中部広域防災拠点に変わりました。ここは平常時には、航空機(ヘリコプター)を活用した物資の輸送や全国からの応援要員を受け入れるなど、活動拠点として重要な役割を果たすそうです。出初式によって、このような施設が近くに建設されたことをより多くの地域住民に知って

頂くことになったと思います。最後になりましたが、寒さ厳しき中、熱心にご観覧頂きました皆様にお礼申し上げます。また、消防職・団員の皆様ご苦勞様でした。

志紀分団 阪本・山科



名物団員

年齢24歳の時に兄に代わって消防団に入団させてもらいました。

約30年、あまり活躍していない様な気がしますが、大阪府小型ポンプ操法に選手として出場させてもらった事が一番の思い出です。自信になったと思います。成績は、ママアあんなもんでした。たぶんブービーやったと思います。

あまりにも色々あって自分は、楽しさと苦しさは9対1かなあと

思います。(1は夜中の火事!不謹慎。ゴメンナサイ!)

消防団のさらなる活躍と発展の為にピチピチとした若い団員様のみなさんが自信と誇りと奉仕精神を持って団活動をして頂きたいと思えます。思い出とか希望とかをぐちぐち言うとうと、もうこの世とのお別れが近いみたいですが、私はもうちよつと頑張ります。

自分に一言なれば、酒は控えめに!消防の会合には今は自転車で参加していますが(罰金こわい!免停!)少々飲みすぎると(いつもの事)ブロック壁や電信柱とか色々けんかの相手になりましたが、やつとこの年になって地球には勝てない事がよく解りました。

アイ・ラブ・アース&ファイア ボランティア!ファイト消防団。
山本分団 山本



日本消防協会会長表彰
○表彰旗

八尾市消防団
○勤続章

山本分団 団員 川西清美
大阪府消防協会会長表彰

○功績章
団本部 副団長 齋当 滋

○永年勤続章
志紀分団 副分団長 角倉建基
山本分団 団員 西尾 勇

○勤続章
龍華分団 分団長 泉 良幸
西郡分団 副分団長 河野光春
志紀分団 部長 増田志郎

〃 〃 〃
班 長 木野健司

○勤功章
南高安分団 分団長 松村康正
副分団長 寺川義浩

〃 〃 〃
龍華分団 副分団長 岸 孝
高安分団 副分団長 植田竹治
八尾分団 班 長 岩井孝男

○精勤章
南高安分団 副分団長 森山 敏
久宝寺分団 部 長 植野保弘
大正分団 部 長 松尾好克
山本分団 部 長 西村公伸
龍華分団 班 長 岡田真一
曙川分団 班 長 桐山和彦
高安分団 班 長 田中孝昭
志紀分団 班 長 西村敏昭

Branch Information

分団インフォメーション



志紀分団

初期消火訓練

平成16年6月6日(日)に志紀分団田井中分隊によって地域住民に呼びかけて田井中公園で初期消火訓練を実施し、約100名の市民が参加されました。特にご婦人の方に消火器20本を使用し、実際に訓練を行なって頂き初期消火には消火器が必



山科・阪本

要であると認識していただきました。今後とも地域と密着した団活動を行いたいと思います。

曙川分団

初詣

曙川分団は平成13年から毎年地域の神社へ初詣に行きます。大晦日の夜中の12時前に屯所に集合し、管轄地域にある3つの神社を回ります。八尾木・中田の由義神社、刑部の御劔(みつるぎ)神社、東弓削の弓削神社です。各神社では拝殿の前に整列し、賽銭をあげ、二礼二拍手一礼で祈願します。その後氏子の役員さん達より御神酒や甘酒をふるまわれしばし歓談。最後に篝(かがり)



火や焚き火に注意を促すと共に水バケツや消火器が準備してある事を確認し、神社を後にします。これは安全祈願と地域住民とのふれあいを大切にするという意味から始めました。

吉村

久宝寺分団

防災とボランティア訓練

今年、1月16日(日)大地震発生時における自主防災とボランティア活動の重要性に対する認識を深め、地域住民の防災意識の高揚を図るとともに、防災行政との連携した防災活動の迅速化、緊密化を図ることを目的とした訓練が、八尾市立美園小学校で行われました。



参加人員は、消防関係、警察、そして、美園地区自主防災組織の方々と約260名の方が集まった中で実施されました。

八尾分団

いつもご苦勞様！

毎年恒例の親睦旅行に片山津温泉に2月11日、12日の日程で行ってきました。

行き帰りの途中には、小松空港プラザ、越前竹人形の里で見学をし、また、日本自動車博物館では旧車、珍車、歴代のさまざまな消防車や消防車が出来る迄に活躍した車輪付きのポンプを見つけ、懐かしさ、珍しさも手伝って時間を忘れ見入ったりと、有意義な時間を持つことが出来ました。

温泉で一風呂浴びた後の宴会では、日頃の消防活動への労いと、これからの我が分団の発展を願っての乾杯に始まり、日常を忘れ、賑やかに宴の一時を過ごしました。

帰りには、家族の協力あつての消防団、土産を準備して帰途につきました。

私たちの分団では来年度に勇退、新入、また役員の交代などを控えております。親睦を深め、これからの結束のためにもよいイベントとなったと思います。

小川

高安分団

市民スポーツ祭



平成16年10月10日(日)、八尾市立高安中学校において、高安地区市民スポーツ祭が行われました。

天気予報では、当日降水確率が高かったのですが、住民の皆さんの熱気とパワーに押されたのか雨も降らずスポーツ祭を進行させることができました。

私たち高安分団も、場内警備や駐車場での車の誘導、選手として競技に出場したりと、忙しい一日を送りました。

また、お昼のイベントでは、昨年好評だった、消防車に幼児

大正分団

ハッスルハッスル

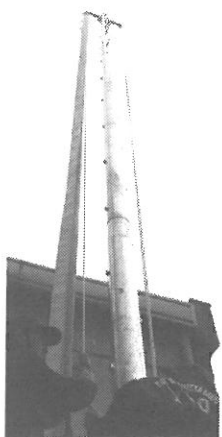


を乗せての車両行進や分隊行進を行い防火を呼びかけました。これからも、高安分団では、地域に密着した消防団を目指し、積極的に地域行事に参加、協力していきたいと思えます。

酒井・山村

2月12日に「乾燥ポール」が木の本分隊に設置されたので、講習会を行いました。

大正分団は、毎月訓練を行うようにしているのですが、木の本分隊では今までホースを干す所が無く、前号で紹介された太田分隊の火の見櫓まで干しに行っていました。



杉本・内山

また、地元地域で訓練する場所に悩んでいた木の本分隊でしたが、木の本公園に防火水槽が、今号発刊する頃には完成する予定で、地元にアピールできる設備が整うと団員達はやる気満々でした。

訓練内容は、災害パネルの展示・エアータントを使用した煙中体験・ロープ結索訓練・応急処置訓練などが体育館で約2時間ほど行われました。校庭では、非常食を使った炊き出し訓練が行われていました。

志村

文化財訓練

平成17年1月27日(木)、久宝寺四丁目の顕彰寺において、消防署・消防団合同の文化財消防訓練が実施されました。

この日の前日、1月26日は奈良の法隆寺金堂の火災(一九四九年)を教訓に制定された文化財防火デーにあたります。

訓練は寺院関係者による通報訓練、初期消火訓練に始まり、文化財の搬出訓練や、消防署・消防団による放水訓練・応急処置訓練などが実施されました。

一斉放水は、実際の建物という事もあり、真上に向かって行う(直上放水)など慎重に行い、短時間でしたが事故もなく無事に訓練を終える事ができました。

昔から親しみのある地元の寺院での訓練という事もあり、日頃の訓練以上に「我々も頑張らなければ」という気持ちが強かったような気がします。また、地域の方々もたくさん見学に来ていただき、皆さんに消防団の活動を知っていただく良い機会にもなったのではないかと思います。

久宝寺分団 岡井



健康管理はできてますか？

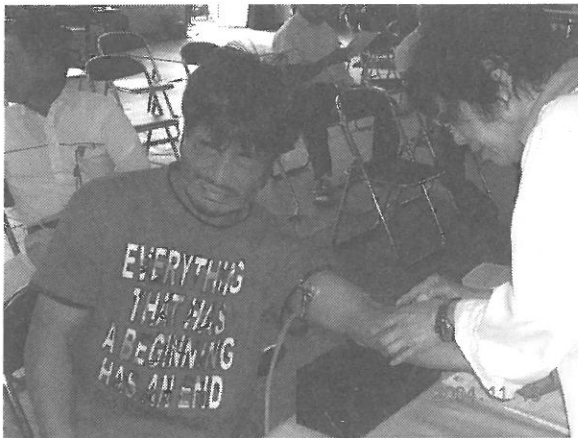
昨年の11月13日(土)、消防本部において健康診断が行われ、団員251名中、126名の受診がありました。日頃から、体調管理をしても、やはり気になるのか、熱心に質問する姿が多く見受けられました。消防団活動をしていくにあたってこれからも規則正しい生活習慣を身につけ、バランスのとれた食事を心がけたいものです。

久宝寺分団 志村



- ☆ 受診者数 251人中 126人 (50.2%)
- ☆ 受診者の内訳
 - A-15人 正常範囲
 - B-14人 生活習慣の見直しで改善できる
 - C-37人 生活習慣を改善し追跡観察を要する
 - D-60人 専門医にて再検査を要する
- ☆ 所見別

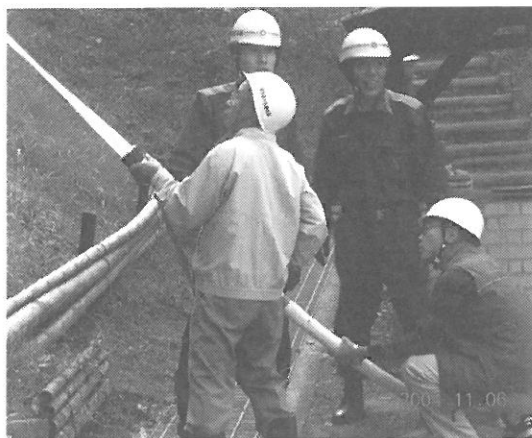
1 脂質検査	61人
2 肝機能検査	45人
3 視力検査	32人
4 血圧検査	28人
5 糖尿検査	20人



自主防災合同訓練

11月6日(土)午前8時より、恩智地内大畑山にて、地域自主防災組織と南高安消防団との合同訓練を、松村康正分団長のもと実施しました。地震による民家からの火が山林に燃え移ったという想定での訓練でした。消火栓が使えなくなった状況で、防火水槽から水を取り、自主防災組織約30名と南高安消防団員とで、高低差約30メートルの上り約500メートルを小型ポンプ1台、車積ポンプ車3台で連携して消火訓練を行いました。同時に倒木除去訓練も行い、無事終了しました。

南高安分団 奥田



ポンプ取扱訓練

平成16年11月21日に八尾市消防本部屋外訓練場にて、ポンプ取扱訓練が実施されました。晴天の中、今回の訓練内容の説明の後、各分団5名により訓練が行われました。

各分団ともテキパキとホース延長を行い、放水により、標的を次々に倒していききました。ほぼ完璧と思われるホース延長、放水を行う分団もありましたが、中にはホースの折れ曲がり、筒先の余裕



ホースが不十分、分岐管の開閉ミスなど細かなミスが見られ、また指示伝達の不十分な点などがありました。

今回のポンプ取扱訓練での失敗をとおり、再度、各分団でポンプ操作を確認して火災の際には、迅速な消火活動がとれるように訓練を実施していきたいと思われました。

八尾分団 岩崎

歳末特別警戒

平成16年12月29日、30日の両日、八尾市全域で歳末特別警戒が行われました。各分団の団員は年末、公私共に忙しい中、各屯所において、有事に備えての待機や管轄区域内をポンプ積載車で、防火広報をしながら巡回パトロールを行ったりと、夜遅くまで活動を行いました。また29日には、八尾市消防団小角団長以下、団本部の激励巡視が行われ、八尾市の全屯所を回られました。

高安分団 酒井・山村



ボウリング大会

平成16年10月23日(土)に、八尾ボウルアローにおいて、164名が参加し消防団厚生事業の一環として、恒例のボウリング大会が開催されました。

小角団長の始球式で大会が始まり、各自、豪華賞品を狙いスコアメイクに専念する者、スピード表示に専念する者、それぞれ白熱したひと時を過ごしました。

上位入賞者及び豪華賞品を手にした方々は次のとおりです。おめでとうございます。

- 優勝 山科輝明 414点 志紀
- 準優勝 松尾好克 401点 大正
- 3位 山本隆夫 341点 山本
- ハイゲーム賞 山科輝明 237点 志紀

大正分団 内山



我が分団の火の見櫓

製作年月は定かではないが、団員に聞く所によると随分古いものらしい。屯所の北側に建っている。

この度、傷みが激しいこの火の見櫓を再塗装していただけることになり、きれいになる前にと登って写真を撮ってみました。

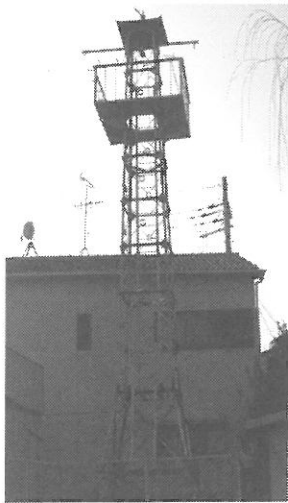
上部には半鐘がかかっていた跡など使用されていたときの痕跡がいくつもありました。

今ではホースを干すことしかないのでありますが、周囲の見晴らしといい、まだまだ火の見櫓としての機能は失ってはいませんでした。

唯一見えにくくなっているのは南の方角、駅や大型の商業施設、マンションなどが立地しているところです。久々に火の見櫓とゆっくり向き合っているいろいろな発見がありました。これからも、我が分団の宝としていきたいものです。



高安分団北部分隊火の見櫓



志紀分団老原分隊火の見櫓

八尾分団 小川

八尾市消防団年間行事予定

- 4月 消防団員任命式
- 5月 初任科・幹部科研修
恩智川水防訓練
- 6月 消防団厚生事業
幹部視察研修
- 7月 大阪の消防大賞
- 8月 中河内地区支部総合訓練
八尾河内音頭まつり特別警戒
- 9月 大阪府消防大会
- 10月 広報誌発刊
- 11月 秋季火災予防運動
消防総合訓練
消防団健康診断
防火フェスティバル
消防団ポンプ操法訓練
消防団厚生事業
- 12月 歳末特別警戒
- 1月 消防出初式
防災とボランティア訓練
文化財訓練
- 3月 春季火災予防運動
消防総合訓練
消防記念日式典
大阪府消防表彰式
広報誌発刊

● 広報部会名簿 ●

委員長	高安分団	小西光往
副委員長	八尾分団	志川元清
委員	久宝寺分団	志川元清
	西郡分団	岡井淳治
	八尾分団	嶋林正雄
	龍華分団	小笠原志一
	大正分団	岡林広高
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	内山啓一
	高安分団	杉本大彦
	山本分団	村井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	武林分団	岡井真一
	小笠原分団	岡井真一
	嶋林分団	岡井真一
	岡井分団	岡井真一
	久宝寺分団	岡井真一
	西郡分団	岡井真一
	八尾分団	岡井真一
	龍華分団	岡井真一
	大正分団	岡井真一
	曙川分団	岡井真一
	南高安分団	岡井真一
	高安分団	岡井真一
	山本分団	岡井真一
	川島分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一
	酒井分団	岡井真一
	山田分団	岡井真一
	奥田分団	岡井真一
	馬谷分団	岡井真一
	黒岡分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	吉村分団	岡井真一
	藤井分団	岡井真一
	内山分団	岡井真一
	杉本分団	岡井真一
	村井分団	岡井真一